

入試内容の一部変更についてのお知らせ（平成 27 年度入試から）

教育学部学校教育教員養成課程音楽教育コースの実技試験は平成 27 年度三重大学入学者選抜（一般入試）から以下のとおりとします。

【前期】

初等教育選修と中等教育選修の試験内容は同じです。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。Ⅲについては A・B・C のうちからいずれか 1 つを選択して受験してください。

（Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 新曲視唱

12 小節程度の新曲視唱を 1 曲課します。予見は 1 分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。

Andante

The musical score is written on three staves in 4/4 time with a key signature of one sharp (F#). The tempo is marked 'Andante'. The melody consists of eighth and quarter notes with various rests and ties. The first staff has a tempo marking 'Andante' above it. The second and third staves continue the melody. The piece ends with a double bar line.

Ⅱ 実技・共通

次の①と②の両方を受験してください。

①声 楽

日本語による歌曲（作品及び調性、伴奏譜は入学者選抜要項で指定）1 曲（1 番の歌詞のみ）を課題とします。歌唱は暗譜でなくてもかまいません。なお、作品の難易度は、中・高等学校音楽教科書に掲載されている歌唱教材、または、それに準ずる歌曲です。

②ピアノ

J.S.バッハ 作曲 「二声のインヴェンション」の中から任意の 1 曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 試験当日の音楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) ピアノで選択した曲の曲名（番号）、調性を出願時に提出する入学志願票に記入してください。

Ⅲ 実技・選択

次の A・B・C の中から一つ選択して受験してください。

A. 声 楽

外国語による歌曲を 2 曲程度提示（入学者選抜要項で指定）します。その中の 1 曲を任意に選択し、暗譜による原語歌唱（移調可）を課題とします。

- (a) ○○○（△△調）
- (b) ×××（▲▲調）

「注」

- (1) 試験当日の音楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 音楽実技で選択した作曲者名、曲名、調性を出願時に提出する入学志願票に記入してください。
- (3) 音楽実技において、上記で指定された調性以外の調で歌唱する場合は、移調楽譜を 1 ページの大きさ A4 判にコピーし、見開きになるように横一連に貼り付け、出願時に提出する入学志願票とともに 2 部提出してください。

B. ピアノ

5 分程度の任意のピアノ曲（独奏曲に限る）を 1 曲各自選択し、暗譜で演奏してください。反復記号がある場合は省略してください。

「注」

- (1) ピアノ実技で選択した曲の作曲者名、曲名、調性、作品番号などの必要事項（多楽章の曲の場合は楽章も）を出願時に提出する入学志願票に記入してください。
- (2) ピアノ実技の演奏楽譜のコピーを出願時に提出する入学志願票とともに 1 部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) ピアノ実技において、演奏時間が 5 分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5 分程度の任意の 1 曲（自作曲は除く）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット（種類は問わない）、サキソフォン（種類は問わない）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ハープ、スネアドラム、マリンバ、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー（種類は問わない）、アコースティックギター（種類は問わない）、三味線、箏、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 鍵盤楽器以外の器楽は、各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を出願時に提出する入学志願票に記入してください。なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 鍵盤楽器以外の器楽において、演奏する楽譜のコピーを出願時に提出する入学志願票とともに1部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 鍵盤楽器以外の器楽の実技において、演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりません、その場合は演奏を途中で止めることがあります。
- (5) 鍵盤楽器以外の器楽における楽器は原則として持参してください。

実技の選択表

	Ⅱ 実技・共通 (声楽)	Ⅱ 実技・共通 (ピアノ)	Ⅲ 実技・選択 (A・B・Cの中から一つ選択)
Ⅲを Aで受験する場合	入学者選抜要項で指定された日本語による歌曲を1曲歌唱する。(歌唱は暗譜でなくてもかまわない)	J.S.バッハ「二声のインヴェンション」から任意の1曲を演奏する。(演奏は暗譜でなくてもかまわないが、その場合は各自が楽譜を用意する)	声楽で受験。 入学者選抜要項で指定された外国語による歌曲から任意の1曲を暗譜で歌唱する。
Ⅲを Bで受験する場合			ピアノで受験。 5分程度の任意のピアノ曲(独奏曲に限る)を1曲暗譜で演奏する。(反復記号は省略して演奏する)
Ⅲを Cで受験する場合			鍵盤楽器以外の器楽で受験。 自作曲を除く5分程度の任意の1曲を暗譜で演奏する。 (反復記号は省略して演奏する)

【後期】（小論文は今迄どおり共通の課題とします）

募集は初等教育選修のみとなります。下記のⅠ，Ⅱを必ず受験してください。ⅡについてはA・B・Cのうちからいずれか1つを選択して受験してください。（Ⅱで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 新曲視唱

12小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。

Andante



Ⅱ 実 技

次のA・B・Cの中から一つ選択して受験してください。

A. 声 楽

5分程度の任意の歌曲（独唱曲に限る）を1曲各自選択し、暗譜で歌唱してください。外国歌曲は原語による歌唱とします。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名，曲名，調性を出願時に提出する入学志願票に記入してください。
- (2) ピアノ伴奏譜のコピーを出願時に提出する入学志願票とともに2部提出してください。
- (3) ピアノ伴奏譜の1ページの大きさはA4判にしてください。
- (4) ピアノ伴奏譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (5) 試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。

B. ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲（独奏曲に限る）を1曲各自選択し、暗譜で演奏してください。反復記号は省略してください。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名、曲名、調性、作品番号、楽章などの必要事項を出願時に提出する入学志願票に記入してください。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する入学志願票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりません、その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲は除く）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含まれます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット（種類は問わない）、サクソフォン（種類は問わない）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ハープ、スネアドラム、マリンバ、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー（種類は問わない）、アコースティックギター（種類は問わない）、三味線、箏、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を出願時に提出する入学志願票に記入してください。なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する入学志願票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 楽器は原則として持参してください。